

2014年5月28日

秦野市長 古谷 義幸 殿

渋沢丘陵を考える会  
代表 日置 乃武子



相模メモリアルパーク 渋沢(東端)墓園造成事業においてエノキの  
現存地保護のため、アクセス道路のルート変更を指導する事を求める要求書

#### 要求趣旨

標記事業におけるアクセス道路のルートを変更し、エノキ移植計画を見直す  
ことにより、エノキの現存地保護を指導する事を求めます。

#### 要求理由

1. 私達は、別添要請書を、公益財団法人相模メモリアルパークに提出しました。
2. 秦野市もご存知のように、標記事業林地開発許可申請は、以下のような経緯  
の中で許可されたものです。

神奈川県は本年3月10日付けで補正指導を事業者に行いました。事業者  
は「貴重な動植物の保護に関して(補正資料)」を提出し、その中で、「移植  
エノキはいずれも高木で、現状の状態での移植は非常に困難であり活着する  
可能性も低い」と、認めています。神奈川県は補正指導の中で、「今後施行  
される森林審議会の答申を踏まえるようお願いする」とし、その森林審議  
会の答申は「貴重な動植物の生息地への影響を必要最小限にとどめるよう配  
慮すること」と述べています。

アクセス道路のルート上にある移植対象エノキは、オオムラサキの高度な  
生息環境を保っていることは、日本チョウ類保全協会の調査でも明らかにな  
っています。

3. 秦野市は平成24年11月、事業者から提出された、生活美観創出協議書に対し、  
墓地周辺に整備される道路について、地形に合わせて動線を創る等検討してくだ  
さいと協議を申し入れています。また、全体の計画についても、今ある地形に合わ  
せて造成計画を検討してくださいとも申し入れています。

以上より、生活美観創出協議の原点に立ち返り、また、森林審議会の答申「貴  
重な動植物の生息地への影響を必要最小限にとどめるよう配慮すること」を  
実現するため、アクセス道路のルートを大幅に変更し、エノキの現存地保護  
により、オオムラサキの生息環境保全をはかる事を指導するよう要求致しま  
す。

以上